

12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 音楽会 給食あり
2	3 振替休業日	4	5 漢字パーフェクトテスト	6 計算パーフェクトテスト 盲導犬キャラバン(4年)	7 百人一首 避難訓練	8
9	10 全校朝会 音楽鑑賞教室(5年) 子どもサミット(5年)	11 集会 華道(5年) ユニセフ募金	12 漢字再テスト 保護者会 ユニセフ募金	13 計算再テスト ユニセフ募金	14 百人一首 ユニセフ募金	15 クラブ 江戸小紋(4年) クラブ見学(3年)
16	17 全校朝会	18 安全指導	19 文楽(5・6年)	20	21 給食終了	22
23	24 天皇誕生日 振替休日	25 終業式	26 冬季休業開始	27	28	29
30	31					

12月の生活目標

「あそんだあとは、てあらいがいをしっかりしよう」

- ・休み時間や、そうじの後はかならずがいをしよう。
- ・気持ちのよいあいさつをしよう。

南山小学校の様子がケーブルテレビ等で放送されます。(港区広報トピックス)

- ・ケーブルテレビ「J:com チャンネル港・新宿」12月1日～10日 10時～/13時～/15時～/
17時～/21時～
- ・港区コミュニティバス「ちいばす」車内 12月1日～10日
- ・「お台場レインボーバス」車内 12月1日～10日
- ・港区公式ホームページ 12月1日より2年間
- ・YouTube「港区役所チャンネル」 12月1日より2年間



学校だより 南山小学校

12月号

平成30年12月1日
港区立南山小学校
校長 明田川輝美

心のバリアフリーを目指して

校長 明田川 輝美

平成30年12月4日(火)～10日(月)は第70回人権週間です。

私たちは皆、自分の存在と尊厳が守られ、自由に幸せを追い求めることのできる権利「人権」をもっています。多くの人とのかかわりの中で、一人ひとりが自分らしく生き、そして、他の人たちとともに幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認め合うことが大切です。

東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、心のバリアフリーを実現し、幸せを追求できる都市を目指しています。日本や世界の各地から集まった、様々な背景・属性のある都民や来訪者など全ての人々が、お互いに、生活習慣・文化・価値観等の違いを認め合える環境をつくっていかうとしています。子供たちも、ぜひこの機会に人権を考えることができる人になってほしいと思います。

本校では、11月の「ふれあい月間」(いじめ防止月間)で様々な取組を実践してきました。学級の現状や課題から改善策や大切にしたい行動を確認し、学級で決めたことを継続して取り組み、いじめや仲間外れのない帰属意識を目指しています。11月26日にはふれあい月間取組発表会を行い、全校児童で取組内容を共有し合いました。子供たちの意欲的な取組を紹介します。

第1学年 言われると嬉しくなる言葉・安心する言葉・悲しくなる言葉・傷つく言葉など「ふわふわことばちくちくことば」を考えました。友達と仲良く過ごすための言葉かけに気を付けながら日々生活をしています。

第2学年 「あなたってこんなにすてきだよ」という思いを伝えるため、花びら型のカードに友達の良いところを書いて渡しました。自分の花を完成させ、教室に掲示することで、友達の良さを認め合うことにつながっています。

第3学年 友達の良いところを四葉のクローバーの付箋に書き、「いいね!きらきら花ばたけ」を作ったり、自分がしてもらって嬉しかったことを、ハートの付箋に書いて「ありがとう」の気持ちを伝えたりしました。また、毎日振り返りカードを書き、自分を見つめ直す習慣を付けています。

第4学年 その日の日直の良いところを全員がカードに書き、一枚の画用紙に貼って渡しました。日直は、学級全体の良いところをカードに書き、学級全体の良さも共有し合いました。改めて友達の良さを見付け、また、友達の良いところを自分も真似してみようとする心が育っています。

第5学年 「いじめとは何か」一人ひとりの考えを出し合い、解決策についてもそれぞれの方法を述べ合いました。また、「いじめのない港区のまちづくり」についても協議し、学級で話し合われたことは、12月10日、区議会棟で実施される「港区子どもサミット」で代表児童2名が発表してきます。

第6学年 友達にありがとうの気持ちを伝える「サンクスカード」を送り合いました。また、悩みや不安を意見箱に入れ、ディベート形式で話し合い、一人ひとりの不安や将来の心配事を共有し、解決していくよう取り組んでいました。さらに、皆が気持ちよく挨拶できる学校を目指し、「あいさつし隊」など、最高学年として様々な取組を考えてくれています。

私たちは、日々人とかかわりの中で生活しています。「心のバリアフリー」を目指し、相手の立場に立って考え行動できる、優しさや思いやりのある人になってほしいと切に願っています。

展覧会

図工専科

10月26・27日に展覧会を行いました。展覧会は、図工や家庭科の学習の成果を発表すること、制作や鑑賞を通して豊かな情操を育てること、保護者や地域の皆様に学校教育について伝えることを目的としています。

地域とのかかわり

自分たちの住む地域のよさを撮影し、写真で表現しました。地域のスマイル（3年）



美術館校外学習

全学年、美術館に校外学習に行きます。美術館で学んだことを生かして制作をします。



幼稚園との連携

南山幼稚園と年間を通して交流をしています。5年生と5歳児さくら組が交流しました。さくら組の作品も体育館と一緒に展示しました。

はさみと紙のハーモニー（5年）



5歳児さくら組と、4歳児ばら組がパフォーマンスのリハーサルを鑑賞しました。



伝統文化教育

日本の文化を学び、体験することで、他の国の文化を尊重できる児童を育てています。

お・も・て・な・し・和菓子（全校）



オリンピック・パラリンピック教育

2020年に向け、東京都のすべての学校で取り組んでいます。競技をしている自分を描き、全校で展示しました。



横断的な学習

様々な教科や生活、行事と関連付けて学習を計画しています。図工も他教科とかがわることで、より学習を深めることができます。あさがおわくわくランド（1年生活）、未来に生きるわたし（6年総合）、南山展覧会かるた（全校国語）など。

異学年交流

異学年の交流を通して、互いに思いやりをもち、自分のよさや役に立つ喜びを味わっています。会場を彩る共同制作は5・6年合同で行いました。また、27日に行われたパフォーマンスは2学年合同で協力してつくりあげました。また、鑑賞は異学年で行い、互いの作品のよさを交流するとともに、上学年の姿を見て学ぶ様子も見られました。

展覧会を通して表現することのおもしろさや豊かさを味わうことができました。これからの生活に生かしてほしいです。ご参観ありがとうございました。

会場の様子



English Support Course 児童の様子

1年2組担任

2年2組担任

南山小学校では、1・2年生に国際学級が設置され、現在、1年生には世界各国より7名、2年生には5名の児童が在籍しています。

ESC（English Support Course）児童と日本人の児童が同じ教室で勉強することで、どちらの児童にとっても、多様な文化や価値観にふれる機会となっています。

1年2組



ESC 児童は、学校生活や国語の学習を通して、少しずつ日本語を身に付け、朝の会や授業の中でも日本語で話すことが増えてきました。クラスの児童も知っている英語やジェスチャーを使って、一生懸命コミュニケーションを図り、互いの距離を縮めています。また、EST（English Support Teacher）のサポートにより、ESC 児童は安心して楽しそうに学校生活を送っています。



読書の時間には、どの子も日本語の本、英語の本と区別することなく、「絵が面白そう」「どんな話？」とページを開き、幅広く本の世界を楽しんでいます。また、読み聞かせの時間には、保護者の方も英語の本を用意して読んでくださっています。

子供たちが、国籍や言葉の壁を越えて、一緒に学校生活を送る仲間として、お互いを思いやり、高め合っているように、今後も支援していきたいと思っています。

2年2組



南山小学校の生活も2年目となりました。授業や、学校の行事、縦割り班活動なども、英語の通訳の有り無しに関わらず、スムーズに取り組んでいます。1年生の時の経験が積み重ねられている証拠だと思います。

音楽会の「ドレミの歌」の練習では、ESC 児童が英語の歌詞の部分のお手本役になりました。発音を真似て何度も練習していくうちに、2年生の合唱の仕上がりがとても良くなりました。



第2学年 ESC 児童が南山小学校国際学級第一期生として、リードしている姿に頼もしさを感じます。今後とも南山小学校の ESC 児童の成長を見守っていただけたら嬉しいです。